

湘南国 滑稽新聞

2015 1/11 創刊号

文科省不認可
湘南国立大学校機関紙
〒256-0815
神奈川県小田原市小八幡2-12-26
三寶寺内
TEL 0465-47-8787
080-9083-3095
FAX 0465-47-6520
MAIL info@shonankoku.jp

〈文科省不認可〉

湘南国立大学校の開校式

小田原の『邪宗門』で盛大に！

2014年11月5日、小田原市小八幡のカフェ『邪宗門』で、当校の開校式が盛大に催された。当日急遽参加した出席者は、画家・牧野伊三夫さん、写真家・原芳市さん、同じく写真家・野村佐紀子さんら多数。近隣からは大磯町のカフェ『ぶらっと』、二宮町のカフェ『nino』、平塚市のカフェ『ボタン』のみなさん他が駆けつけた。

湘南国などというクニはもちろん存在しません。無駄かつ無意味な何事かを発信する基地が湘南であることから、その地をクニに見立てた遊びです。クニではないので国境もありません。要するにゴッコとしての学校遊びをはじめようというわけです。

あるかもしれませんので、ヒマのない人はヒマを作ってご参集ください。

当大学の所在地は小田原市小八幡の三宝寺境内「邪宗門」ですが、講座開校地はさまざまです。あるときは鎌倉、あるときは藤沢、あるときは東京、九州、四国だったりします。本籍地しかない巡礼の旅人の

ように開講地を変えていくということです。まあ、そのときその場所に合ったところで開講するわけです。融通無碍。神出鬼没の大学校ということになりましょうか。

受講料はいただきます。

一回ごとで、前売り整理

券はだいたい一〇〇〇円から三〇〇〇円。当日券はいずれ

もプラス五〇〇円とします。整理券をお求め下さる方は、電話0465-47-8787か、080-9083-3095もしくはメールinfo@shonankoku.jpにお名前と電話番号、受講希望講座をお伝え下さい。精算は講座実施日にいたします。

なお、潤沢な運営資金でする遊びではありませんことをご考

〈湘南国立大学校開校記念トークライブ〉

牧野伊三夫（画家）×和多田進（本紙編集長）

世の中に自分を 変えられないために



▲和多田進 ▲牧野伊三夫

2014年11月5日、湘南国立大学校（文科省不認可）の開校式が小田原市小八幡のカフェ『邪宗門』で開催され、画家の牧野伊三夫さんと湘南国立大学校校長兼『滑稽新聞』編集長の和多田進がトークライブを行った。雑誌論、原発の問題など、さまざまな話題に広がったトークライブの概要を採録します。

やりそこないの2人

和多田 以前私が編集長をしていた『CHA』という雑誌に挿絵を描いていただいたのが牧野さんとの出会いですが、それ以降はやりそこないばかりですね。（笑）

何年か前、サックス奏者の坂田明さんと牧野さんと私の3人が組んでライブ・ペインティングを企画したことがありましたね。観客を前にして坂田さんがサックスを吹く。それに

慮いただければと思います。本大学校「開校のことば」をお読み下さればお分かりのこととは思いますが、私たち自身の視界を拡げることによって、もしかしたら私たちは今日までとは違った人生を生み出せるのかもしれない。その希望を捨てずに、この試みを応援して下さいますよう心からお願い申し上げます。

開校のことば

あなたがすることはほとんど無意味であるが、それでもしなくてはならない。そうしたことをするのは、世界を変えるためではなく、世界によつて自分を変えられないようにするためである。



ある人物はそう述べました。

またその人は、

生は死から生じる。

妻が芽吹くためには、種子が死なねばならない。

とも述べたのでした。

これらのことば、つまりこれらのことばの根本にある考え、それらをわたしたちは本学開校の「ことば」にしたいと存じます。

合わせて牧野さんが絵を描き、それを見ながら坂田さんが曲をつくってサックスを吹くという即興ね。

牧野 和多田さんに誘っていたら、和多田さんの故郷である北海道十勝の青年会議所の50周年イベントでやることになっていったんですね。下見に坂田さんと和多田さん、ぼくの3人で帯広に行きました。会場は見晴らしのよい広場で、そこに長さ80mほどの壁を設置してもらい、ぼくは走りながらその壁に絵を描いて、坂

田さんも走りながらサックスを吹くという話になったんですね。どこからどこまで走るか、何回か走って確認し、あとは本番という状態ですごく楽しみにしていました。坂田さんも毎朝腕立て伏せなんかしてやる気になっていたんですね、きつと。

和多田 ところが、やりそこなっちゃった（笑）。

牧野 そうそう。主催者の方からイベントが中止になったという電話があった。新宿でその方とばかり3人で会って事

情を聞いたら、主催者の間でもめごとがあつて、計画は中止になったということでした（笑）。それでまあ仕方がない、新宿で4人で食事でもということが入ったイタリアン、その店に行ったら、そこにたまたま写真家の荒木経惟さんがいらしたんですね。

荒木さんと和多田さんが仲よしだということは知っていましたが、荒木さんと坂田さんも仲よしで、みんなで荒木さん行きつけのスナックに行くことになった。荒木さんと坂田さんは親友のような感じで話していて、そのうち「おちんちん舐めたら気持ちいい」とか、そういう話をしはじめた。それを聞いていて、ぼくより二回りぐらい上の前衛のアーティストはやっぱりすごいと思いました。

和多田 前衛だから、おちんちん舐めるわけじゃないでしょう。それは2人の特殊な趣味（笑）。

牧野 そうか、特殊な趣味です（笑）。でも、刺激的というか、自分もこういうふうにならなければと思いました。難しく考えていたものが氷解していったり、友達って大事だなと思ったり、いろんなことを考えさせてくれた夜でした。

和多田 そのあと、牧野さんとは鎌倉海岸近くの画廊、個展の会場なんかでお会いしましたね。牧野さんが鎌倉で似顔絵を10000円で描いていた、あまりにもつたいないと思つた（笑）。私も牧野さんにそこで似顔絵を描いてもらいました（笑）。

牧野 それからしばらくお会いしてなくて、それで今回の開校式ですね。

次号へつづく▼▼▼

湘南国立大学校 講義内容とスケジュール

前売りのお申し込みは講演前日15時まで。

TEL 0465-47-8787 FAX 0465-47-6520
080-9083-3095 MAIL info@shonankoku.jp

津田美奈子さん

治療室ナチュレ室長。鍼灸あん摩マッサージ指圧師。自身の出産経験から小児鍼灸(大師流)を学ぶ。

●お母さんのための東洋医学講座

子どもが出す身体の不調を知らせるサインをいち早く察知して、適切な対応ができる親になろう。でも、親になるって、思っているほど簡単じゃないかもよ。

第一回 スキンタッチの大切さ、子供の肌に現れる不調のサインを学ぶ 1月24日(土) 13:30～
第二回 舌診断で舌に現れる身体の不調を学ぶ 2月28日(土) 13:30～
第三回 家族の病気を防ぐツボ療法 3月28日(土) 13:30～
場所 : 三寶寺
受講費: 前売り1000円／1回(当日1500円)

蓮池透さん

1955年新潟県柏崎市生まれ。2005年まで「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」事務局長、副代表。

●拉致問題をどう考える

「めぐみさん」は生きているのだろうか？ 拉致問題をめぐるマスコミの報道をそのまま信じていいのだろうか？ 日本政府は何を考えているのだろうか？ つきない疑問を解く手がかりをかみくだいて解説。

第一回 弟の失踪 1月30日(金) 13:30～
第二回 弟の帰国 2月6日(金) 13:30～
第三回 問題解決への道筋を探る 2月13日(金) 13:30～
場所 : 三寶寺
受講費: 前売り2000円／1回(当日2500円)

柳本真弓さん

目白鍼灸院院長。テレビや雑誌でも幅広く活躍中。著書に『NHKきれいの魔法 保存版美に効くツボ』など。

●めぐりのいい体のすすめ&ツボ体験(ささない鍼)

自分の身体なのに、実はだれも身体のことを分かっていない。摩訶不思議な“私”の身体に私が心をそばだてる方法を考えます。

第一回 めぐりのいい体のすすめ&ツボ体験(ささない鍼) 2月1日(日) 13:30～
場所 : 三寶寺
受講費: 前売り1500円(当日2000円)

原芳市さん

写真家。1945年東京生まれ。『ぼくのジブシー・ローズ』で第十七回準太陽賞受賞。

●写真をめぐる冒険

写真があふれるこの時代に、写真とは何か？ を自問することは無意味ではないだろう。あなたの写真観を根本から揺さぶらずにはおかない全5回の知的冒険。

第一回 写真家は永遠でないものを永遠にする。『ストリッパー図鑑』を見ながら。 2月11日(水) 19:00～
第二回 写真家は目に見えないものを見ようとする。『曼荼羅図鑑』を見ながら。 2月25日(水) 19:00～
第三回 写真は神秘、不思議、しかもエロティシズムが宿っていないなければならない。『現の闇』を見ながら。 3月11日(水) 19:00～
第四回 写真は現実を借りて虚構を作り、普遍で深淵な物語となる。『光あるうちに』を見ながら。 3月25日(水) 19:00～
第五回 撮影行為は祈りであり、対象に憑依する。『常世の虫』を見ながら。 4月1日(水) 19:00～
場所 : 三寶寺
受講費: 前売り1500円／1回(当日2000円)

斉藤とも子さん

女優。神戸市出身。1976年デビュー。「男たちの旅路・車輪の一步」、映画「ひめゆりの塔」等に出演。

●朗読とお話

映画、テレビ、舞台で活躍する女優とはいったい何者か。作品から人生を学ぶ女優の生き方を知りたい。

第一回 今、ここにいる不思議 朗読『ある少年の体験記』 2月15日(日) 13:30～
第二回 先人の声を聴く 朗読『父は空 母は大地』 2月21日(土) 13:30～
場所 : 三寶寺
受講費: 前売り1500円／1回(当日2000円)

岸本明子さん

フリーランスライター。1971年東京生まれ。2010年から三代澤村宗之助の後援会運営に関わる。

●歌舞伎ノゾキ見る

梨園とはまた別の歌舞伎役者の世界を知ってこそ、歌舞伎の本当の面白さが分かります。どの回かに宗之助が登場するかも！

第一回 一度歌舞伎に行ってみる 3月1日(日) 13:30～
第二回 歌舞伎公演をする方法 3月12日(木) 13:30～
第三回 歌舞伎役者という人たち 3月29日(日) 13:30～
場所 : 三寶寺
受講費: 前売り1500円／1回(当日2000円)

牧野伊三夫さん

画家。1964年生まれ。「暮しの手帳」の表紙・挿絵。同人誌「画家のノート・四月と十月」の編集長。

●牧野伊三夫のエロスの世界

画家は世界のどこを、何を見ているのか。その秘密を感じるための公開お絵かき。

第一回 牧野伊三夫のエロスの世界(ライブペインティング) 3月7日(土) 13:30～
場所 : 三寶寺
受講費: 2000円(当日2500円)

倉澤治雄さん

ジャーナリスト。1952年生まれ。元日本テレビ政治部長。著書に『原発ゴミはどこへ行く』等。

●未来への負の遺産～原発ゴミを考える

原発に反対する人も賛成する人も、避けては通れない核廃棄物の問題をいまいちど考えてみる。

第一回 未来への負の遺産～原発ゴミを考える～ 3月14日(土) 13:30～
場所 : 三寶寺
受講費: 1500円(当日2000円)

町田康さん

小説家。1962年生まれ。パンクミュージシャンとしても活躍。「きれざれ」で第123回芥川賞受賞。

●町田康さんと本を読む

今回のために町田さんが選んだ本と一緒に読んでみることで、どんな読書世界が広がるか人体実験をしてみよう。

第一回 町田康さんと山下澄人作『ルンタ』(講談社)を読む 3月15日(日) 13:30～
(『ルンタ』を読了後ご参加されることをおすすめします)
場所 : 三寶寺
受講費: 2000円(当日2500円)

藤井貞和さん

詩人、日本文学(おもに古典)研究。詩集『ことばのつえ、ことばのつえ』、詩論『人類の詩』など。

●あなんじゅばすさん

1996年結成。正岡子規の短歌から谷川俊太郎の現代詩まで100年の「ことばをうたうバンド」。

●ことばをうたうバンド・あなんじゅばす コンサ+スペシャルゲスト・藤井貞和(朗読)

日本古典文学研究の泰斗かつ詩人である藤井貞和さんをお招きして、詩を音楽にするとどうなるかという魂の実験劇場を開催します。ことばと音の饗宴の第一弾！

3月22日(日) 15:00～
場所 : 三寶寺
受講費: 前売り3000円(当日3500円)

しょうみょう

声明 2月22日(日) 15:00

場所:三寶寺

湘南国立大学校理事長、竹石友威住職が自ら受け持つ講座です。時代を超えて引き継がれていく聲と祈りを三寶寺本堂の音響と空間でご体験ください。

出演 : 浄土宗 法式勉強会『「無」の会』小島伸方、他5名
東京・芝公園の浄土宗大本山増上寺に伝わる縁山流聲明や法式を勉強する会
プログラム : ①浄土宗六時禮讃 ②縁山流聲明(大本山増上寺)四智讃 散華 伽陀 等
受講費 : 前売り2500円(当日3000円)

相州 企 大磯

1878創業

井上本店

かまぼこ一筋

http://www.oiso-inoue.com